

知識への触手を広げよう

進路のための図書館講座 No.2

この資料のポイント

- ✓ 関心を持った記事にツッコミを入れて読みを深めよう
知識の世界を広げるヒントになります
- ✓ 関心を持った事柄は、まず言葉の「定義」を調べよう
- ✓ その事柄について、さらに広く情報を集めよう

先週、「新聞を読んで知識を蓄えてみよう」と呼びかけましたが、皆さんは何か新聞記事を読みましたか？

いま新聞記事はコロナウイルス関連一色に見えるかもしれませんが。医療、教育、法律(行政)、経済など、社会のどの分野でも、このコロナウイルスとかかわりのない分野はありません。

家で新聞を取っている人はぜひ、自分の進路と関わる分野の記事を引き続き探してみましょう。

家で新聞を取っていない人でも新聞記事の全文が読めるサービスが準備できました。別紙で案内しています。

ぜひ、そちらを活用してくださいね。

関心を持った記事にツッコミを入れよう

前回、新聞記事を読んで知識を蓄えようとおススメしました。知識を蓄えるために読むためには、記事にただ目を通すだけでなく、記事にツッコミを入れながら読むと、読みが深まります。



記事にツッコミって、どんなふうに？



そうそう、そういう感じで読んで少しでも興味を持った部分、逆によくわからない部分に問いかけてみるといいんだ

まず試したい簡単なツッコミ

記事中のキーワードや、よくわからない言葉は言葉の意味を問う

これ、どういう意味？

事例が紹介されていたら

……5W1Hを確認する

いつの事例？ 誰にとっての問題？

……他と比較したり、他とのかわり(連鎖、順序)を考える

他の地域(場所)/人(グループ)は？

誰かの意見や感想が書かれていたら

この人はどういう立場の人？

その意見は一般的？

・実際にやってみよう

大学でスポーツ関連の勉強をすると仮定して、皆さんはこの記事にどんなツッコミを入れますか？ 書き出してみましよう。

[『eスポーツ、現実社会に貢献 欧米のトップ選手参戦、ファンとも接点』「朝日新聞」2020年5月8日付 p.19](#) (リンクで一部読めます)
ぜひ朝日けんさくくんで検索してみましよう。

COVID-19 感染防止のため試合ができなくなったプロアスリートたちを集めて「e スポーツ」の試合を行う事例を紹介しています。

・記事中のキーワードや、よくわからない言葉は言葉の意味を問う



・事例が紹介されていたら

……5W1Hを確認する



……他と比較したり、他とのかかわり(連鎖、順序)を考える



誰かの意見や感想が書かれていたら

……どういう立場の人がどんな意図で発した言葉なのか考える

……その意見は一般的なものかどうかを考える



たとえば、ツッコミを入れるとこんな感じ

記事中のキーワードや、よくわからない言葉は言葉の意味を問う

例 e スポーツって、どういう意味？

事例が紹介されていたら

……5W1Hを確認する

例 海外で e スポーツはどのくらい普及しているの？

例 視聴数はどれくらいの人数？

例 この取組はどんな意義がある？

……他と比較したり、他とのかかわりを考える

例 日本での事例は？ 他競技は？

例 トップアスリートと e スポーツのプロとどちらが強いんだろう？

誰かの意見や感想が書かれていたら

……どういう立場の人がどんな意図で発した言葉なのか考える

……その意見は一般的なものかどうかを考える

例 「日本では選手が e スポーツで表に出にくい」、本当かな？

なんとなく読むよりも、ニュースの見方が広がりますね。

ツッコミの答えも、ぜひ調べてみましょう。10分で大丈夫。

少し調べるだけで得られるものも多いもの。

関心を持った事柄は、まず言葉の「定義」を調べよう

特に大事なのは言葉の定義(事柄の意味と内容を明確に限定するもの)です。
例えば、「e スポーツ」の定義、ちゃんと言えますか？



え、e スポーツってテレビゲームのことじゃないの？

『知恵蔵mini』による定義は……

「コンピューターゲームや、テレビゲームの種類の一つである対戦型ゲームをスポーツ競技として捉えた際の呼び名。格闘ゲームやシューティングゲーム、RPG(ロールプレイングゲーム)などの対戦型ゲームなどが、その対象となる。「エレクトロニック スポーツ(electric Sports)」の略。」

この説明の後、[国際 e スポーツ連盟](#)(IeSF ;International Esports Federation)があり、「e スポーツワールドチャンピオンシップ」が開かれていること(「モンスターストライク」が競技種目だった!)や、2018年に開かれたアジア競技大会の種目となったことなども紹介されています。



ゲームで対戦するから
競技として認められているのか！
世界大会もあるなんて！

……でも、日本だとあまり
競技として認識されていないなあ
他の国ではどう認識されているんだろう？

定義を知ると、他の似た言葉との関わりや違いが明確になります。大学の先生は、言葉の定義をととても大切にしています。小論文に備え、普段から言葉の定義を調べる癖をつけておきましょう。

ツッコミをもとに、さらに情報を集めてみよう

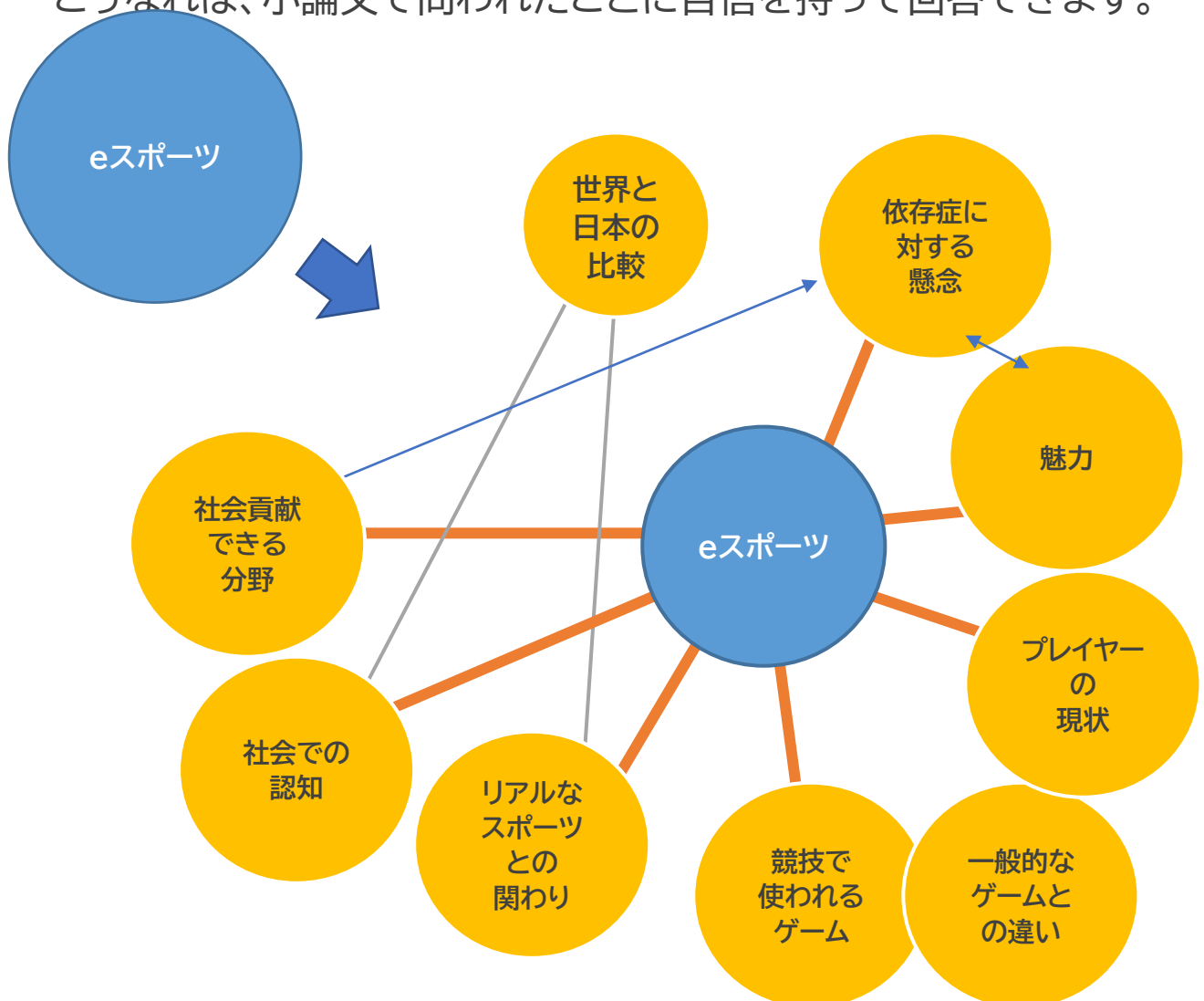
定義を調べたら、ぜひついでに、さきほど自分でしたツッコミの答えについても情報を集めてみましょう。

このあと紹介するサイトや図書館の本を使えば、特に 5W1H で問うレベルのツッコミの答えは、わりと簡単に見つかります。

すぐに答えが見つからないようなツッコミだったら、分かる範囲で大丈夫。関心を持って新聞記事を読み続けていくことで、別の資料から思いがけず答えが見つかることもあります。

こうして、ツッコミへの答えを探していくことで、漠然としていた知識の内容が肉付けされ、知識量は自然と深まります。

こうなれば、小論文で問われたことに自信を持って回答できます。



言葉の定義や情報収集に使える情報源



え、Google で調べたら
簡単なんじゃない？

Google に単語を放り込めば膨大なサイトが紹介されますが、表示されるサイトが読みやすいとは限りません。絞り込まれた、信頼でき読みやすい情報源を活用すると、ずっと楽に読めますよ。

新聞記事に載っている言葉の意味を調べるのに役立つサイト

- WEB『コトバンク』 <https://kotobank.jp/>

ネットで検索できる無料のサイトです。新語辞典『知恵蔵』、朝日新聞の解説記事や、講談社・小学館の百科事典、国語辞典の定義をまとめて比較しながら読めます。

★[コトバンク「e スポーツ」の検索結果](#)を見てみよう

いちばんの
オススメ！



- WEB『情報・知識&オピニオン imidas』 <https://imidas.jp/genre/>

ネットで検索できる無料のサイトです。集英社の新語辞典『imidas』や、専門家の書く時事オピニオン(意見文)を読めます。

★[imidas「e スポーツ」の検索結果](#)を見てみよう

- 朝日けんさくくん <https://school.asahi.com/index.shtml> 使い方は別紙

新聞記事を通して、知りたい物事と社会との関わりがわかります。また、[e スポーツ [いちからわかる](#)]のように検索すると、Q&A形式の解説記事を検索でき、ごく簡単に、事柄の全体像を掴めます。

これらのサイトは、「定義を知る」「ツッコミの答えを探す」のどちらにも活用できます。記事の信憑性が高く、物事の背景を掴めます。

- **WEB『Wikipedia』** <https://ja.wikipedia.org/>

みんな知っている百科事典サイトです。Googleで検索すると、一番上(PCの場合は右カラム)に引用されることもあります。概要を知るには良い反面、誰でも自由に編集できるサイトなので、内容が偏っている、記事が整理されていない、誤った情報が掲載されている、ということもあります。概要を把握する程度に活用すると良いかもしれません。

★[wikipedia「Eスポーツ」の検索結果](#) を見てみよう

図書館が使えるようになったら、ぜひ本からも調べよう

- **新語辞典**

『現代用語の基礎知識』自由国民社

『朝日キーワード』朝日新聞社

いま話題になっている言葉の意味を調べるのに役立ちます。

- **各分野の事典、便覧資料** 「〇〇百科」「図解雑学〇〇」「〇〇図鑑」など
各分野の事典や便覧的な資料で索引から調べていくと、イラストなども含まれた形で全体像を知ることができます。

扱われているページがどんな章の中で扱われているかを目次で確認すると、他にどのような事柄と関連しているか把握できます。

- **新書**

高さ 18cm、幅 11cm、文庫本を縦長にした、シリーズの本です。
シンプルな装丁で、価格も比較的安く、入手しやすい本です。

予備知識がない人に向けて各分野の専門家が書くお約束になっているので、知りたいことの全体像がつかみやすくなっています。

まとめ

- ✓ 関心を持った記事にツッコミを入れて読みを深めよう
知識の世界を広げるヒントになります
ぜひ、たくさんのツッコミを入れて、より深く記事を読み取るように心がけましょう。ツッコんだ内容は、このあと、他の記事を読むときに読むポイントが明確になりますよ。
- ✓ 関心を持った事柄は、まず言葉の「定義」を調べよう
定義がわかると、他の言葉との関わりや違いが明確になります。
- ✓ その事柄について、さらに広く情報を集めよう
漠然としていた知識が肉付けされて、事柄の問題点や他との関わりがよくわかるようになりますよ。

そうそう、定義や関わる情報を調べたら、それも併せて、スクラップ (Google Keep や iPhone のメモ) に一緒にまとめて、知識のストックを形に残しておきましょう。

今回はここまで。